

教科(科目)	情報（情報Ⅰ）	単位数	2単位	学年(コース)	1年次
使用教科書	実教出版『最新情報Ⅰ』				
副教材等	全商ビジネス文書実務検定模擬問題集3級				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①地域と連携する活動をととして、地域に愛着を持ち、将来にわたり地域社会に主体的に貢献しようとする姿勢を育成します。 ②防災減災学習や地域理解学習をととして、地域の課題を自分事として捉え、解決しようとする態度を育成します。 ③豊かな心を持ち、思いやりをもって自他を尊重し、国際化に対応したコミュニケーション能力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	①基本的な生活習慣を確立させる生徒指導や人権教育、同和教育の推進をととして、規範意識・社会性の涵養、いじめを許さない態度の育成をするための教育活動を展開します。 ②3年間の系統的で継続的な「白嶺HS J（ホップ・ステップ・ジャンプ）」プランによるキャリア教育や防災減災学習により、学力向上、進路実現を目指すための指導や取り組みを推進します。 ③職業理解、地域理解を深め、地域課題を解決しようとする態度を育成するため、地元の産業界、関係機関等との連携・協働を推進し、地域の復興や活性化に向けた教育活動に取り組みます。

2 学習目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを目指す。

3 指導の重点

進学・就職等希望進路が多岐にわたっていることから、

①必要な情報デザイン、コンピュータを活用するために必要な情報が処理される仕組み、データを活用する為に必要な収集、整理、分析の方法、プログラム、モデル化とシミュレーション、ネットワーク、データベースなどについて理解し、技術を身に付ける。

②コミュニケーションの手段、コンピュータ、ネットワーク、データ及びデータベースなどの活用を通して、情報社会などの問題の発見・解決に向けて、試行錯誤と振り返り及び改善を行い、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

③法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。

4 評価の観点の趣旨

a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会のなかで果たす役割の影響、情報に関する法律・規則やマナー、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技術を身につけている。	様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけている。	情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を身につけようとしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・演習課題やワークシート、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、取り組み観察 ・提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、取り組みの観察 ・提出物の内容の確認 などから、評価します。
	内容のまとめりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとめりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価の観点と評価方法
4	第1章 情報社会と私たち	情報社会	情報社会の現状について理解する。 情報の特性について理解する。 情報のモラルと情報化が個人に及ぼす影響について理解する。	12	ワークシート (記述の点検) a. b. c 授業中の発言 (行動の確認)
5		情報社会の法規と権利	知的財産について理解する。 情報の利用と公開について理解する。 個人情報保護と管理について理解する。 社会の中の情報システムについて理解する。		b. c 授業の取り組み (行動の確認)
		情報技術が築く新しい社会	情報技術と課題解決の方法を考える。		b. c
6	第2章 メディアと情報デザイン	メディアとコミュニケーション	メディアの発達について理解する。 目的に応じたメディアを選択することができる。 コミュニケーションの形態には違いがあることを理解する。 インターネットを活用したコミュニケーションの特徴について理解する。	7	
7	実技テスト 定期考査 第2章 メディアと情報デザイン	情報デザイン 情報デザインの実践	社会の中で利用されている情報デザインについて理解する。 情報を正確にわかりやすく伝える方法について理解する。 報告書やレポート、論文を作成するための手順について理解する。 プレゼンテーションの手順とスライド作成について理解する。 Web ページ作成の方法について理解する。	1 1 7	定期考査 (解答の確認) a, b ワークシート (記述の点検) a. b. c 授業中の発言 (行動の確認) b. c 授業の取り組み (行動の確認) b. c
9	第3章 システムとデジタル化	情報システムの構成	コンピュータの構成と動作の仕組みについて理解する。 ソフトウェアの種類とインターフェイスについて理解する。	6	
	実技テスト 定期テスト			1 1	定期考査 (解答の確認) a, b
10	第3章 システムとデジタル化	情報のデジタル化	アナログとデジタルの違いについて理解する。 コンピュータの演算の仕組みについて理解する。 数値や文字をデジタル化する方法を理解する。 音声をデジタルで表現する方法について理解	8	ワークシート (記述の点検) a. b. c 授業中の発言 (行動の確認) b. c

			する。 静止画や動画をデジタルで表現する方法について理解する。 情報のデータ量を小さくする方法について理解する。		授業の取り組み (行動の確認) b. c
11	第 4 章 ネットワークとセキュリティ	情報通信ネットワーク	情報通信ネットワークの構成について理解する。 ネットワークを効率的に利用するための取り組みについて理解する。 Web ページとメールの仕組みについて理解する。 ネットワークを通じてデータを効率よく転送する工夫について理解する。	7	ワークシート (記述の点検) a. b. c 授業中の発言 (行動の確認) b. c
12	実技テスト 第 4 章 ネットワークとセキュリティ	情報セキュリティ	脅威に対する様々な安全策について理解する。 情報セキュリティを確保する方法と技術について理解する。 情報を安全に取り扱うための技術について理解する。	1 6	(知識の確認) a ワークシート (記述の点検) a. b. c 授業中の発言 (行動の確認) b. c
1 2 3	第 5 章 問題解決とその方法	問題解決	問題解決の手順について理解する。 問題の発見方法について理解する。 問題を明確化する方法について理解する。 解決案を検討したり、整理・分析したりする方法について理解する。 実行した解決案を評価する方法について理解する。	11	授業の取り組み (行動の確認) b. c
	第 6 章 アルゴリズムとプログラミング	プログラミングの方法	アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。 プログラミング言語の種類と特徴について理解する。 変数を使用したプログラムを作成する。		
	定期考査			1	定期考査 (解答の確認) a, b

計 70 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

- ・タイピング練習、入力実習、表計算実習等の課題があり、それらを印刷して提出する。
- ・実技テスト、筆記の小テストを授業中に行う。
- ・全商ビジネス文書実務検定3級取得を目指す。

8 担当者からの一言

「情報Ⅰ」は、パソコン実習における演習課題の提出、実習課題の成果、実習の取り組み・態度、授業中の発言を重視します。パソコンの深い知識や高い技術はもちろんのこと、指示をよく聞き、情報に関する法律・規則やマナー、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技術が求められます。

(担当：中東・志田・白石・松尾・小林)

